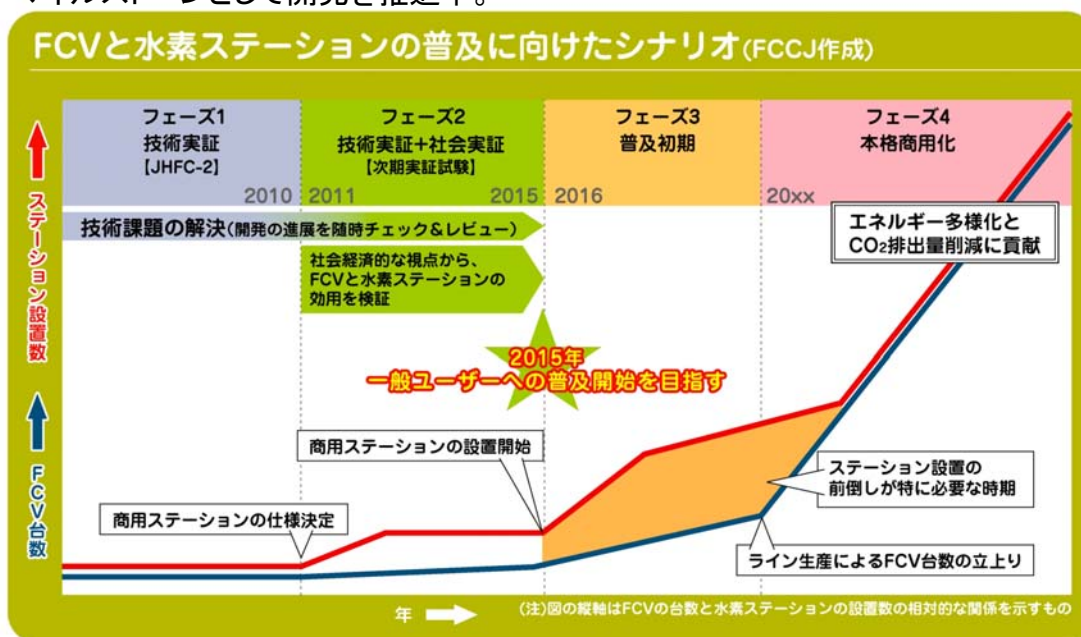


燃料電池自動車(FCV)の普及シナリオ

自動車メーカー、エネルギー企業は2015年を一般ユーザーへの普及開始のマイルストーンとして開発を推進中。



FCCJ(燃料電池実用化推進協議会):民間企業(および関係団体)より構成され、燃料電池の実用化と普及に向けた検討、政策提言等を行っている。

燃料電池自動車(FCV)の研究開発課題

実用化に向けた課題	現 状	本格普及時 2020年～	センターが取り組む 主な研究課題
燃料電池スタックの製造コスト	数十万円/kW	約4千円/kW	・安価な電解質膜の開発 ・白金電極触媒量の低減
耐久時間	3千時間程度	5千時間以上	・電解質膜の高耐久化 ・白金電極触媒の高耐久化
作動温度	約 90℃(最高温度) -30℃環境での始動	約 100～120℃(最高温度) -40℃環境での始動	・セルの高性能化